

令和2年度決算を認定

※金額は万円未満を四捨五入しています。

特 殊 委 員 会

9月定例会

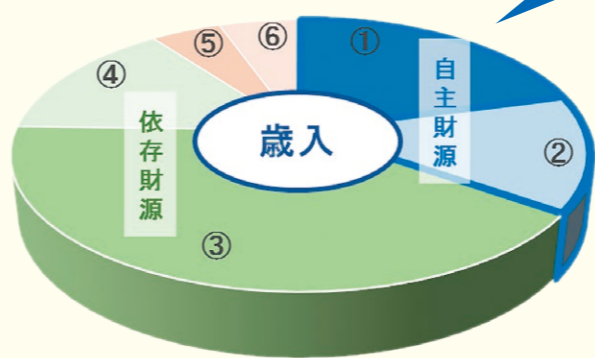
令和2年度決算

10月臨時会・表決一覧

一般質問

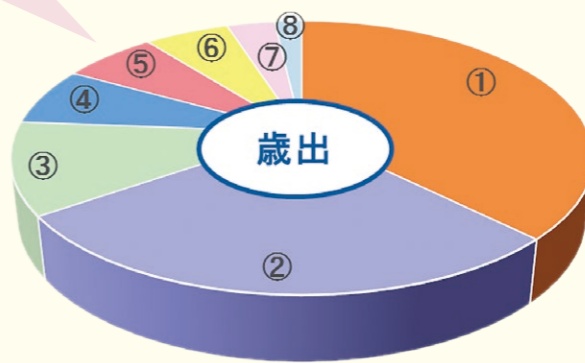
委員会活動報告

一般会計 歳入合計 180億5448万円



自主財源		62億6481万円
① 町税		37億7106万円
② その他		24億9375万円
依存財源		117億8967万円
③ 国県支出金		73億5631万円
④ 地方交付税		26億370万円
⑤ 町債		8億4457万円
⑥ その他		9億8509万円

一般会計 歳出合計 174億9799万円



① 総務費	65億4608万円
② 民生費	48億9013万円
③ 教育費	19億473万円
④ 衛生費	12億239万円
⑤ 土木費	10億9663万円
⑥ 公債費	9億8621万円
⑦ 消防費	5億5556万円
⑧ その他	3億1625万円

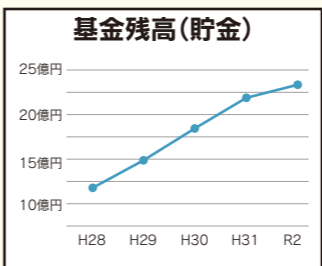
令和2年度決算表

一般会計	歳入	前年度比	
		180億5448万円	37.1%増
	歳出	174億9799万円	37.1%増

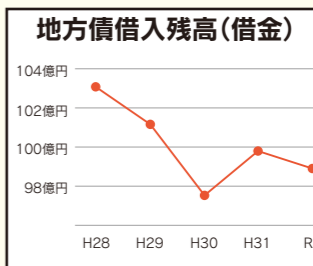
特別会計	国民健康保険	歳入	38億5819万円	1.4%減
		歳出	38億5249万円	1.5%増
	後期高齢者医療	歳入	4億5789万円	4.1%増
		歳出	4億3704万円	4.2%増

基金・地方債 年度末残高の推移(直近5年間)

基金残高(貯金)	金額
R2	22億6691万円
H31	21億4990万円
H30	18億7470万円
H29	15億9539万円
H28	13億4340万円



地方債借入残高(借金)	金額
R2	98億8666万円
H31	99億7867万円
H30	97億4982万円
H29	101億1420万円
H28	103億652万円



賛成討論 南里正秀議員

特筆すべきは、財政調整基金が令和2年度末で15億円を超え、標準財政規模の20%を達成したこと。財政改革推進プランを策定し、事務事業の

見直しや人件費の抑制など身を削る改革を断行された結果だと高く評価する。新型コロナウイルス感染症対策やふるさと応援寄附事業も大きな成果をあげている。

決算審査特別委員会 委員長 飛賀貴夫

令和2年度決算を徹底審査

決算審査については、議長を除く議員全員による決算審査特別委員会を設置し、活発な質疑を行いました。

主な質疑を要約してお知らせします。

※すべての会計において、全員賛成で認定とするものと決定。

後期高齢者医療会計

問 高齢者の医療費が県内で1位となっており、今後、医療費の削減に向けてどう取り組むのか。

答 糖尿病や高血圧、脂質異常等の生活習慣病の予防は、これまでどおり力を入れていきたい。

併せて、地域コミュニティで開催しているスロージョギング教室や介護予防教室など集団の力で楽しく声をかけ合いながら、健康づくりや早期受診への機運を高めていきたい。

問 地域支援事業費を活用して、どのような事業に取り組んでいるのか。

答 トレーニングルームの運営費550万円他に、地域コミュニティで実施している介護予防教室などの介護予防事業費に3487万6千円、包括的支援事業費に5598万7千円が使われている。

国民健康保険会計

問 コロナ禍での収納対策で資格者証発行をゼロに抑えたことは大変評価できるが、他の滞納処分の実施件数は、また、コロナ禍での推移は。

答 令和2年度は全体で59件、内訳は不動産差押え11件、預金差押え13件、給与差押え22件、所得税還付金差押え2件、生命保険差押え2件、その他9件。

平成30年度は100件、平成31年度は59件となっている。

上水道事業会計

問 三郡山系岩盤地下水「河原のしずく」の売り上げは63万円だったが、設置費用を除く維持管理コストは。

答 電気代、水質検査代、機械の保守点検代等の合計56万円。

問 有収率が89.27%と他の自治体と比べて低くなっているが、その原因は。

答 宇美町は水道管の長さ、が糟屋地区でも一番長い。今後対策を講じていく。



三郡山系岩盤地下水「河原のしずく」販売所20瓶100円で好評販売中

有収率とは
配水された水量のうち、料金を徴収できた水量の割合を有収率と言います。
日本の有収率は約90%とされています。

流域関連 公共下水道事業会計

問 滞納処分はコロナ禍でもあり慎重に行わないといけないが、今後の収納対策の方針は。

答 財政課収納係と連携して収納対策を講じていく。

一般会計

問 ふるさと宇美町応援寄附金の広報活動にどう取り組んだのか。

答 主要4大ポータルサイトに加え、新たに2つのサイトを追加した。

問 返礼品の現在の主力は「あまおう」だが、町内で生産・製造された返礼品が主力になっていくことが望まれるが、今後の取組は。

答 ふるさと納税の本来の趣旨は、多くの方々に宇美町を知っていただき、町の応援団になっていただくことだと考えている。

問 病児保育は現在、宇美町、志免町、須恵町の3町で取り組まれているが、福岡都市圏全域等エリアを拡大して取り組むことはできないか。

答 県の病児保育対策部会で協議が進められている。

令和2年度決算

次のページは…10月臨時会

事業者支援策を実施